

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

13中期経営計画がスタート。
第2四半期の営業利益はほぼ計画どおり。タイ洪水の影響から通期計画を下方修正するも、アジアを中心とした今後の事業展開は変更なし。

2011年11月22日
日本発条株式会社



項目	スピーカー		Page
会社概要	代表取締役副社長	山口 努	3
12.3期第2四半期決算実績	執行役員経理部長	堀本 守朗	10
12.3期決算計画	執行役員経理部長	堀本 守朗	17
海外展開	執行役員経営企画部長	八代 隆二	23
事業戦略	執行役員経営企画部長	八代 隆二	31



*本社、横浜事業所

会社概要

～東日本大震災やタイ洪水の影響はあるものの、
中期経営計画は変更なし～



第2四半期は、ほぼ計画どおり

- ◆ 東日本大震災の影響で前半は生産が停滞したものの、後半は順調に回復。第2四半期は、売上高2,029億円（計画比2.4%減）、営業利益82億円（計画比2.6%増）でほぼ計画どおり。

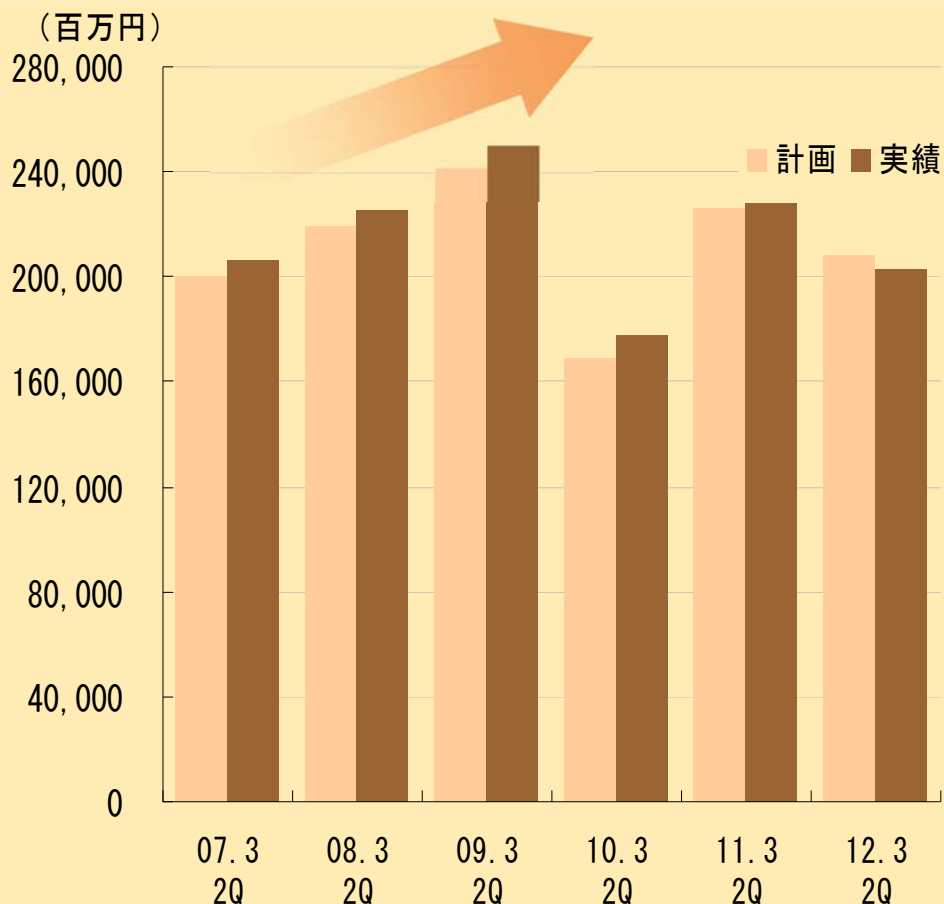
タイ洪水の影響等により通期計画修正

- ◆ 第2四半期までの進捗は順調に推移したが、タイの洪水、円高の影響などを考慮し、2012年3月期通期計画を、売上高4,460億円、営業利益230億円に下方修正。13中計に向けての事業計画は変更なし。

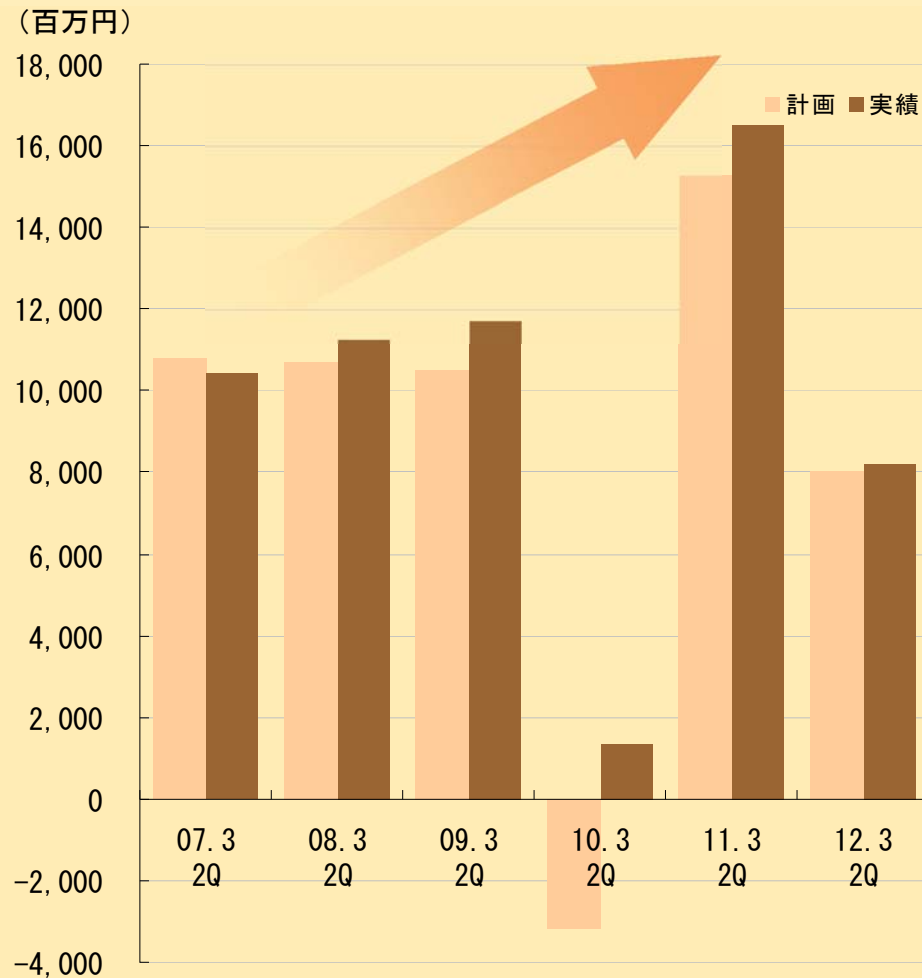
最新トピックス

- ◆ 中国鄭州に新たにシート会社設立を決定。13中計に向けて、アジアを中心に積極的な事業展開を実施。
- ◆ グループ力強化のため、2012年4月1日にニッパン、トープラを完全子会社化。

売上高



営業利益



過去5年をみると、リーマンショックで業績が一旦落ち込んだもののV字回復。12.3期は東日本大震災、円高といった環境の悪化があり、前期に対し、減収減益。計画に対しては、売上、利益ともほぼ計画どおり。

直接的被害はなし

- ◆ タイにある4工場については直接的被害なし。自動車関連については客先の稼働停止に伴い、操業停止。HDD用サスペンションについては、操業停止することなく稼働中。

客先の生産再開計画に対応

- ◆ 自動車関連は、客先の生産再開に合わせて操業を再開。
- ◆ HDD用サスペンションは継続して操業。一部顧客からの受注増にも対応中。

タイでの事業継続は変更なし

- ◆ 今後タイの事業継続については大きな変更なし。但し、BCPの観点も含め東アジア地域での生産拠点の検討開始。

自動車関連

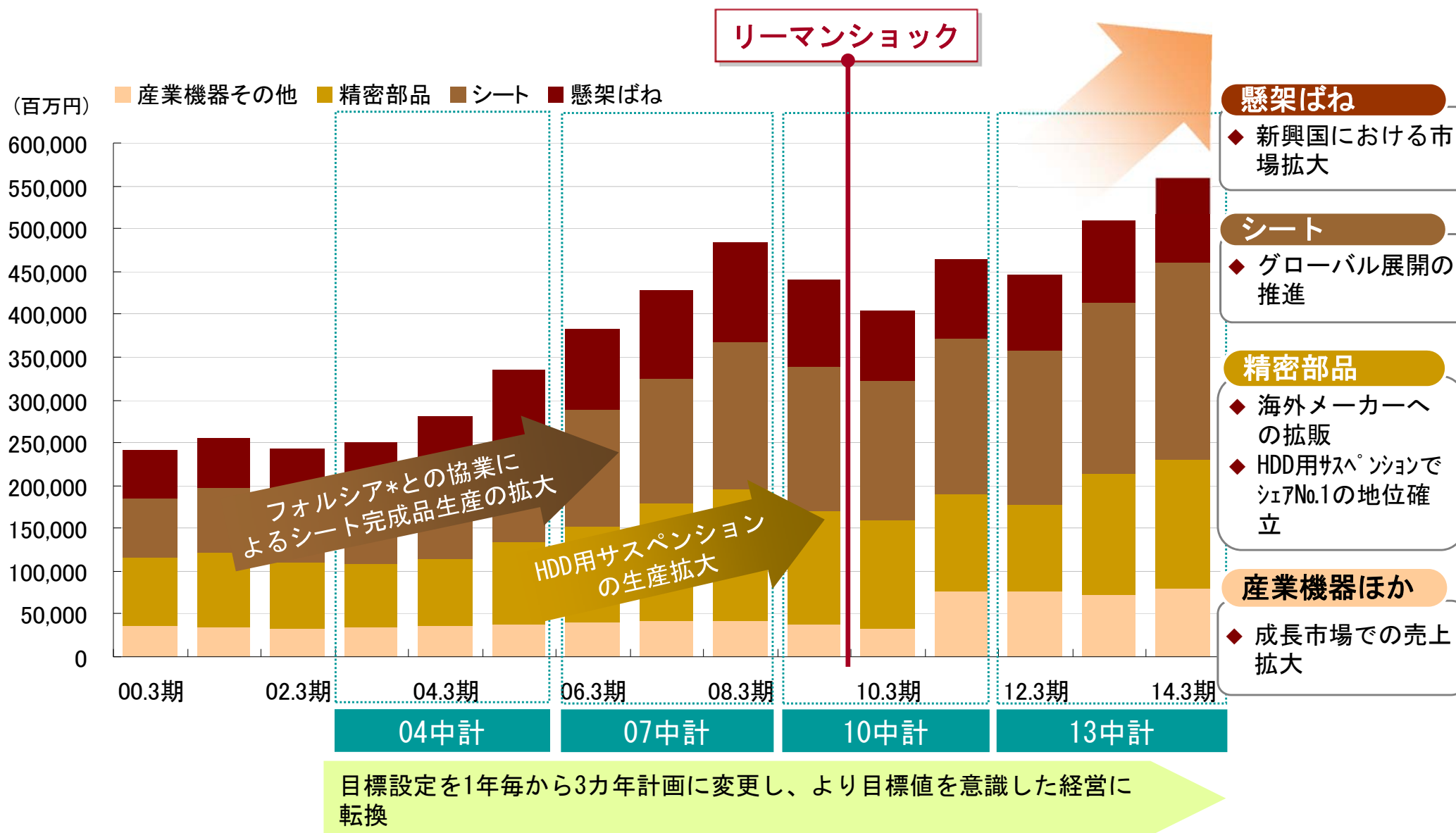
- ◆ 主要客先はトヨタ系、いすゞ系、日産系。タイ洪水の影響で生産減。

HDD関連

- ◆ 主要客先の1つであるSeagateは洪水の被害なく稼動中。

会社概要④

これまでのニッパツの歩み 順調に売上が拡大



* フォルシア：仏のシートメーカー。共同で日産のシート完成品を受注。2003年から納入を開始。

注：11.3期よりセグメント内容を一部変更。関連会社のセグメント区分の見直し等実施。

- ◆ 事業区分は4つ。事業分野は自動車分野、情報通信分野、産業・生活分野の3つ。
- ◆ 自動車分野以外の事業の柱は精密部品事業の中のHDD関連。

事業区分	分野	主要製品	12.3期2Q 売上割合
懸架ばね	自動車分野	板ばね、コイルばね、スタビライザ、トーションバー、スタビライザリンク、ガススプリング、スタビリンカーほか	21%
シート	自動車分野	自動車用シート、シート用機構部品、内装品ほか	38%
精密部品	自動車分野	線ばね、薄板ばね、	24%
	情報通信分野	HDD用サスペンション、HDD用機構部品、液晶・半導体検査用プローブユニット、精密加工品ほか	
産業機器ほか	情報通信分野	ろう付製品、セラミック製品、ばね機構品、セキュリティ製品	17%
	産業・生活分野	配管支持装置、駐車装置、ポリウレタン製品、照明器具、ゴルフシャフトほか	
	全ての分野	金属ベースプリント配線板	

12. 3期第2四半期決算実績

～東日本大震災から順調に回復。ほぼ計画どおり～



12. 3期第2四半期実績①

ハイライト

- ◆ 東日本大震災等の影響により、前年同期と比較し、売上、利益ともに大きく落ち込んだ。しかし、震災からの早い回復により、第1四半期から第2四半期にかけて、業績は回復基調となり、ほぼ第1四半期決算で発表した計画どおりとなった。

(単位：百万円)

	2011年3月 第2四半期 (累計)	2012年3月 第1四半期	2012年3月 第2四半期	2012年3月期第2四半期			
				累計実績	前期比	当初計画	計画比
売上高	227,827	94,136	108,823	202,959	△10.9%	208,000	△2.4%
営業利益	16,516	2,843	5,362	8,205	△50.3%	8,000	+2.6%
経常利益	16,247	3,046	5,171	8,217	△49.4%	8,200	+0.2%
当期利益	9,445	2,637	3,085	5,722	△39.4%	5,600	+2.2%
EPS (単位：円)	39.89	11.27	13.18	24.45	—	—	—

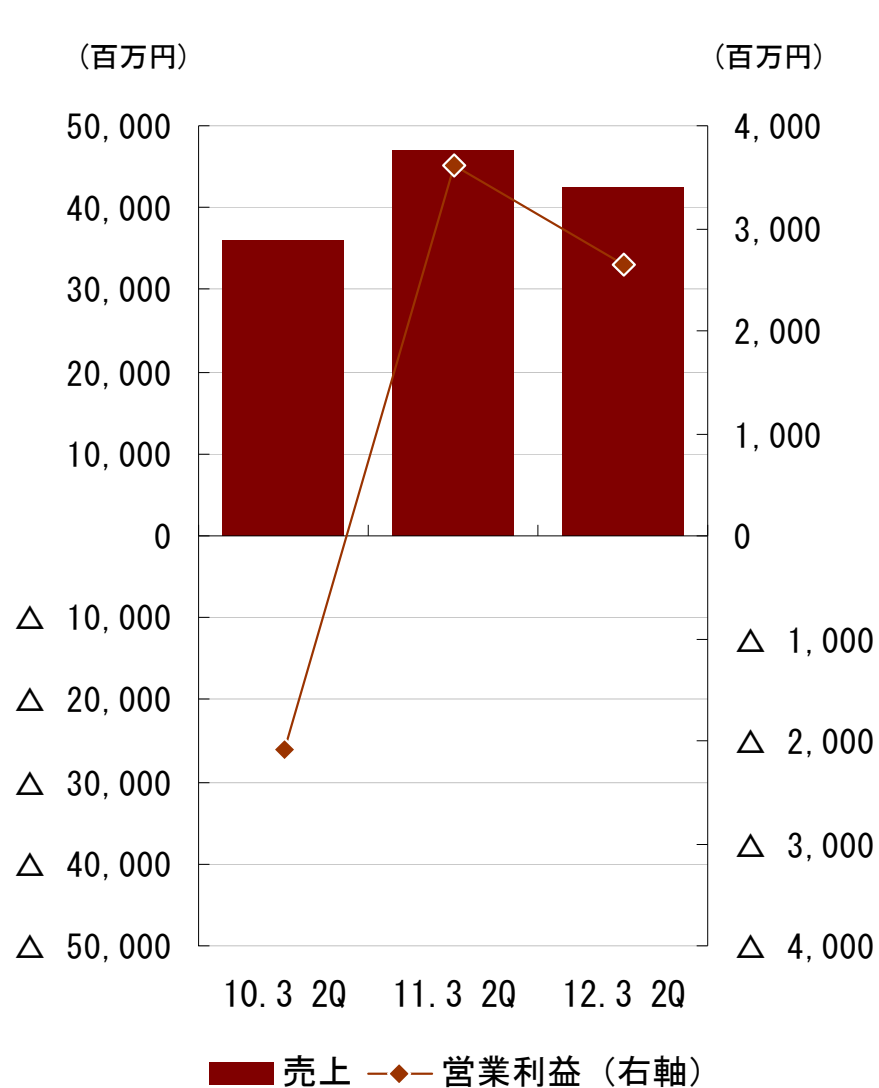
12. 3期第2四半期実績②

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、前半は震災の影響により減産となったものの、後半の回復が早く、ばね、シートはほぼ計画どおりの結果となった。
- ◆ 精密部品の中のHDD関連は、売上はほぼ計画どおりだが、円高の影響により、わずかながら計画未達となった。

		11. 3上期 実績	12. 3上期 計画	12. 3上期 実績	前期対比	計画対比
懸架ばね	売上高	470億円	440億円	425億円	△9. 7%	△3. 4%
	営業利益	36億円	24億円	26億円	△27. 0	+10. 2%
	率	7. 7%	5. 5%	6. 2%	—	—
シート	売上高	920億円	800億円	781億円	△15. 1%	△2. 4%
	営業利益	44億円	27億円	27億円	△38. 7%	+1. 6%
	率	4. 9%	3. 4%	3. 5%	—	—
精密部品	売上高	573億円	500億円	498億円	△13. 0%	△0. 2%
	営業利益	67億円	15億円	12億円	△81. 3%	△16. 3%
	率	11. 7%	3. 0%	2. 5%	—	—
産業機器 ほか	売上高	357億円	360億円	361億円	+1. 1%	+0. 3%
	営業利益	16億円	14億円	15億円	△7. 8%	+11. 5%
	率	4. 7%	3. 9%	4. 3%	—	—
消去/調整	売上高	△43億円	△20億円	△36億円	—	—
	営業利益	—	—	—	—	—
	率	—	—	—	—	—
合計	売上高	2, 278億円	2, 080億円	2, 029億円	△10. 9%	△2. 4%
	営業利益	165億円	80億円	82億円	△50. 3%	+2. 6%
	率	7. 2%	3. 8%	4. 0%	—	—

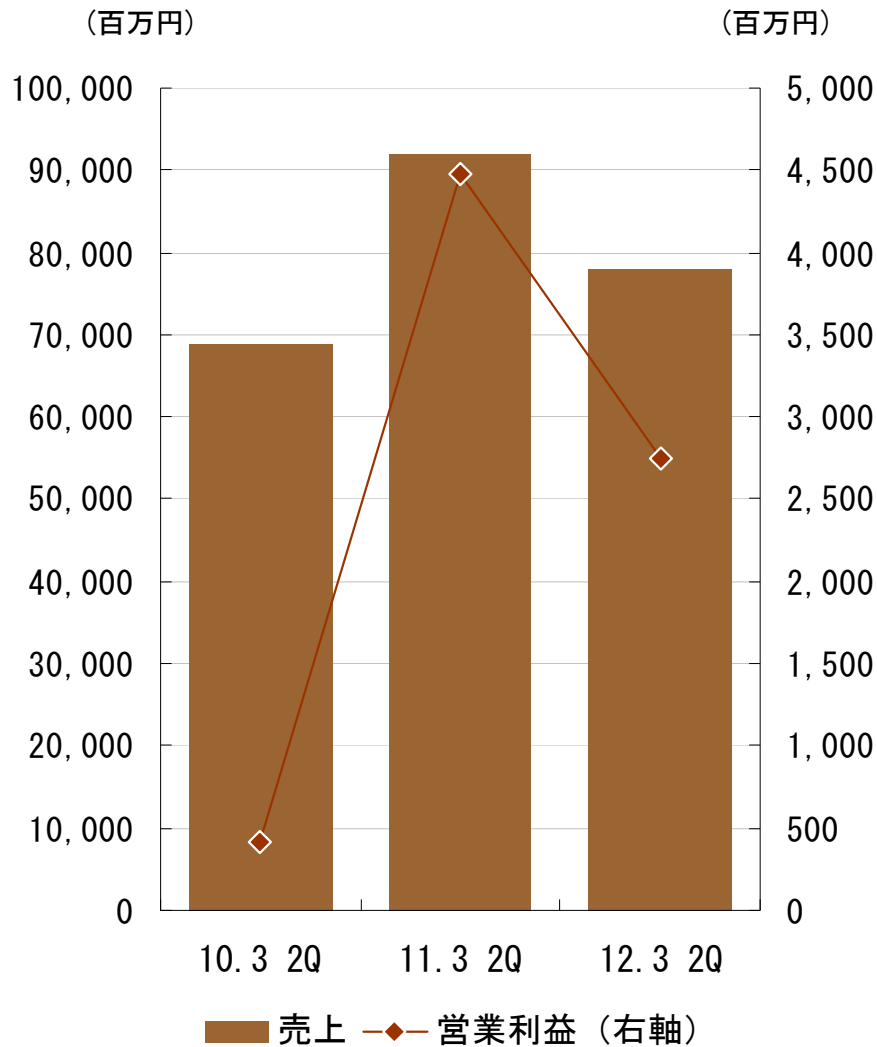
12.3期第2四半期決算実績③ セグメント別分析① 懸架ばね



	11.3 2Q	12.3 2Q計画	12.3 2Q実績	前期比	計画比
売上高	470億円	440億円	425億円	△9.7%	△3.4%
営業利益	36億円	24億円	26億円	△27.0%	+10.2%
営業利益率	7.7%	5.5%	6.2%	—	—

計画に対し売上は若干未達だったが、商用車を中心とした国内自動車生産増と原価低減で計画をクリア。

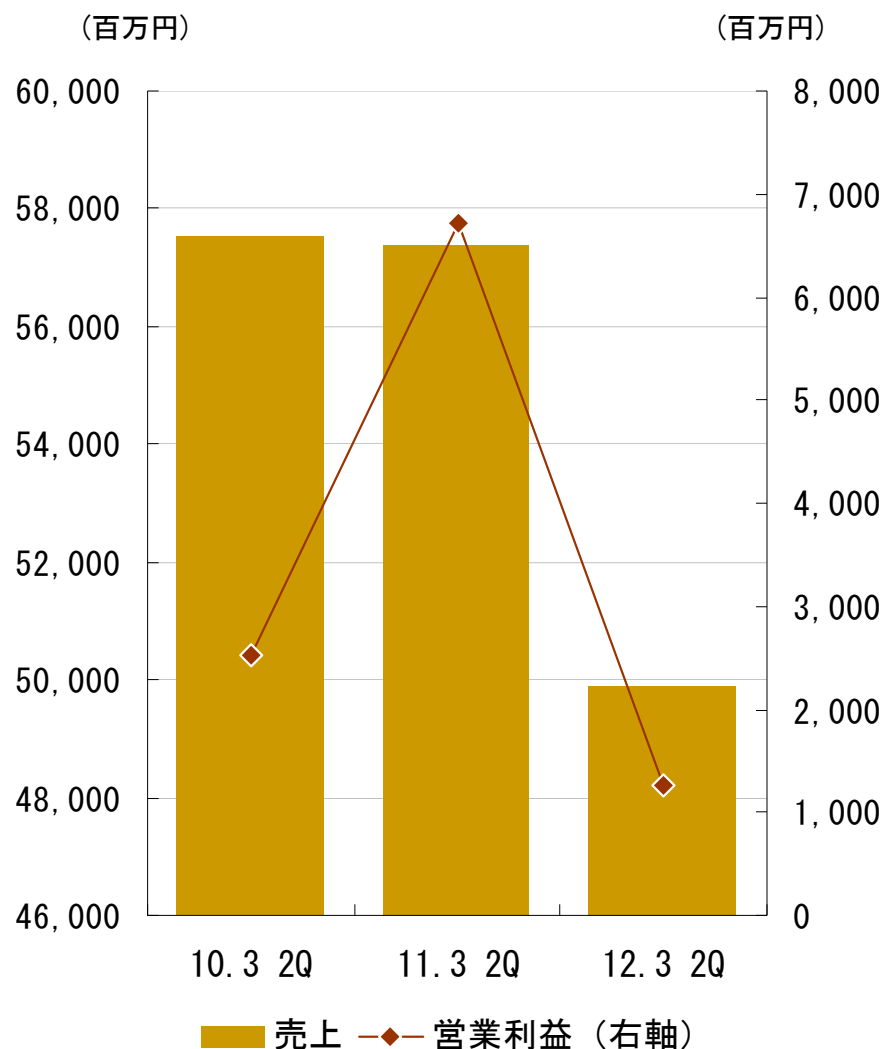
12.3第2四半期決算実績④ セグメント別分析② シート



	11.3 2Q	12.3 2Q計画	12.3 2Q実績	前期比	計画比
売上高	920億円	800億円	781億円	△15.1%	△2.4%
営業利益	44億円	27億円	27億円	△38.7%	+1.6%
営業利益率	4.9%	3.4%	3.5%	—	—

計画に対し売上は若干未達だったが、原価低減努力で計画を達成。

12.3第2四半期決算実績⑤ セグメント別分析③ 精密部品

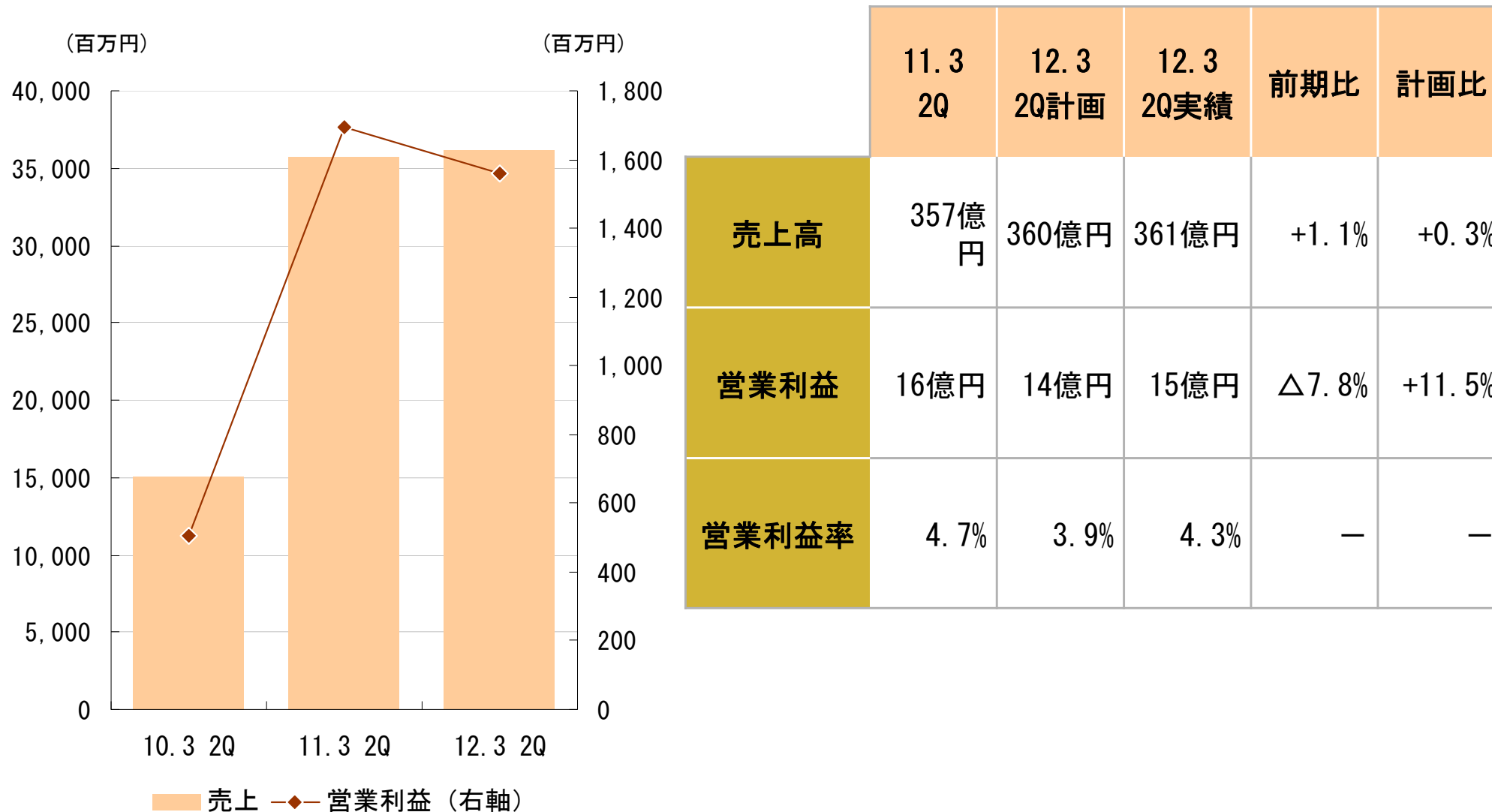


	11.3 2Q	12.3 2Q計画	12.3 2Q実績	前期比	計画比
売上高	573億円	500億円	498億円	△13.0%	△0.2%
営業利益	67億円	15億円	12億円	△81.3%	△16.3%
営業利益率	11.7%	3.0%	2.5%	—	—

売上はほぼ計画どおりだったが、円高の進展により、営業利益は未達。

12.3第2四半期決算実績⑥

セグメント別分析④ 産業機器ほか



震災の影響が少なく、売上、営業利益ともにほぼ計画どおり。

12. 3期決算計画

～タイ洪水の影響等はあるが、海外展開など
13. 3期の土台作り～



12. 3期決算計画①

12年3月期の決算計画の前提条件

	上期		下期		通期	
	当初	実績	当初	今回	当初	今回
自動車関係						
国内自動車生産台数	380万台	390万台	560万台	555万台	940万台	945万台
HDD関係 (注) 暦年ベース						
HDD生産台数	326百万台	326百万台	339百万台	296百万台	665百万台	622百万台
サスペンション総需要	1,152百万個	1,153百万個	1,181百万個	1,020百万個	2,333百万個	2,172百万個
サスカウント	3.53	3.54	3.48	3.45	3.51	3.49
NHK計画数量	447百万個	447百万個	521百万個	488百万個	968百万個	935百万個
その他						
為替レート US\$	81円	79.73円	79円	77円	80円	78.44円
為替感応度 1円/US\$	1.7億円	1.6億円	1.8億円	1.6億円	3.5億円	3.2億円
為替レート THB	2.7円	2.69円	2.7円	2.5円	2.7円	2.61円
為替感応度 0.1円/THB	—	1.3億円	—	0.9億円	3.0億円	2.2億円

※タイ、中国、マレーシアは、1～12月決算

12. 3期決算計画②

2012年3月期 通期計画

- ◆ タイ洪水、円高の影響を加味し、当初(8月発表)の通期計画を見直し。
売上は90億円、営業利益は50億円引き下げ。

(単位：百万円)

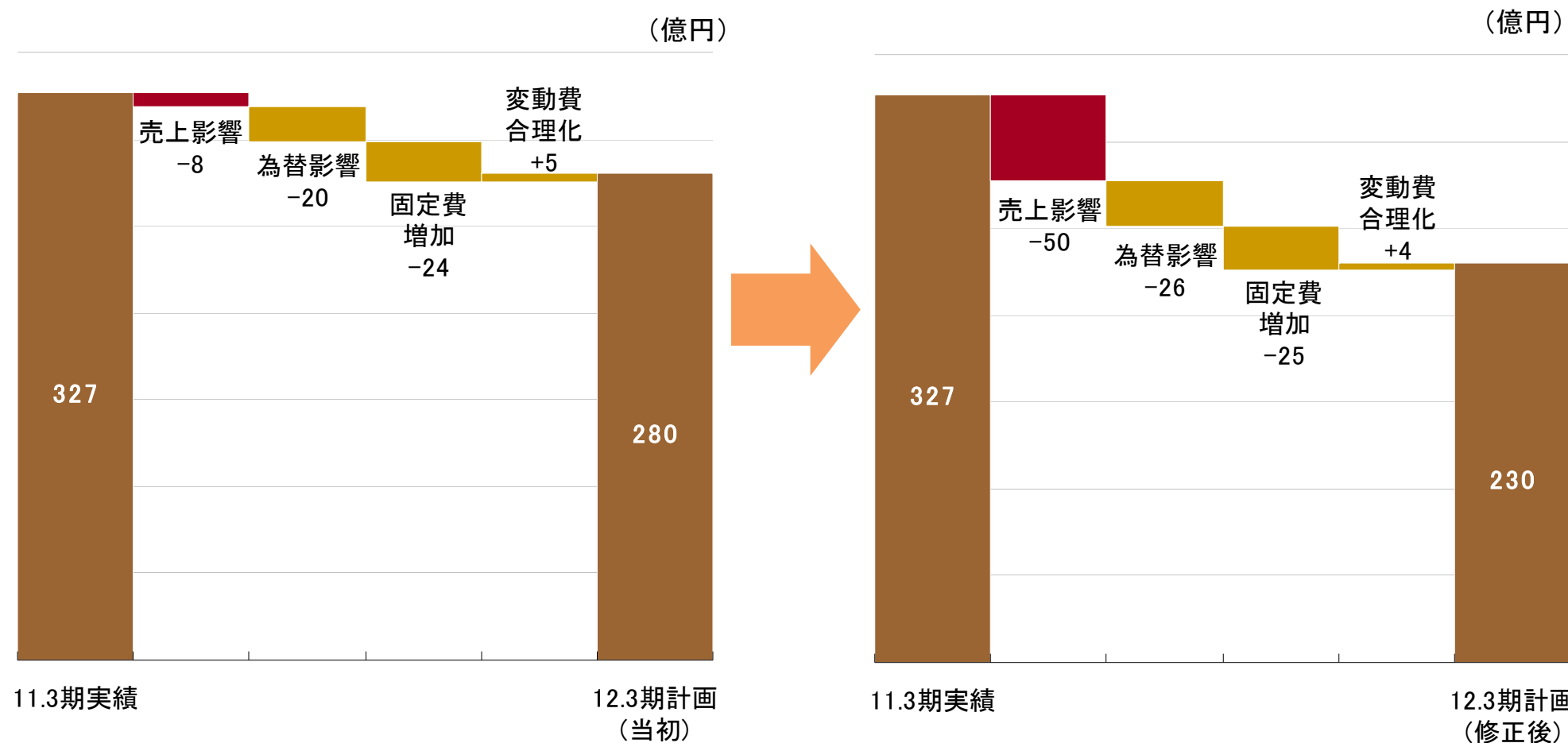
	2011年3月 通期	2012年3月 下期計画 (当初)	2012年3月 下期計画 (修正後)	2012年3月期通期			
				計画 (当初)	前期比	計画 (修正後)	前期比
売上高	456,198	247,000	243,041	455,000	△0.3%	446,000	△2.2%
営業利益	32,757	20,000	14,795	28,000	△14.5%	23,000	△29.8%
経常利益	33,407	19,800	14,783	28,000	△16.2%	23,000	△31.2%
当期利益	19,420	12,400	8,278	18,000	△7.3%	14,000	△27.9%
EPS (単位：円)	82.44	—	—	—	—	—	—

12.3期決算計画③ 営業利益の変動要因分析

- ◆ タイの洪水、円高の影響により当初計画を修正。営業利益は当初280億円から230億円へ50億円の減少。

当初計画

修正後計画



12. 3期決算計画④

営業利益の変動要因分析

- ◆ 当初は東日本大震災の影響からの回復、増産を想定していたが、タイの洪水の影響で売上が大きく減少。

項目	当初 (億円)	修正後 (億円)	差異 (億円)	増減要因	今後の対応
売上	△8	△50	△42	タイ洪水および下期当初計画比減少分	タイ洪水影響による受注変動へのスムーズな対応
為替	△20	△26	△6	円高の進展	海外原材料の採用促進
固定費	△24	△25	△1	タイ洪水でのラインストップ等に係わる固定費増	労務費、経費等の抑制徹底
変動費	+5	+4	△1	売上減少に伴う合理化対象減	海外調達促進、歩留向上等の合理化促進

12. 3期決算計画⑤

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連(懸架ばね、シート、精密部品・産業機器ほかの一部)は、上期は震災の影響により減産、下期は回復から増産に転じる計画であったが、タイ洪水の影響もあり、売上が当初計画より減少する見込み。
- ◆ 精密部品のうちHDD関連は、一部顧客の震災影響、業界再編、タイの洪水、円高の影響により、売上、利益ともに前期より減少する見込み。

		11. 3期 実績	12. 3期計画			対前期比
			上期実績	下期	通期	
懸架ばね	売上高	912億円	416億円	473億円	890億円	△2. 4%
	営業利益	71億円	26億円	29億円	56億円	△21. 9%
	率	7. 9%	6. 3%	6. 2%	6. 3%	—
シート	売上高	1, 814億円	780億円	1, 019億円	1, 800億円	△0. 8%
	営業利益	98億円	27億円	69億円	97億円	△1. 4%
	率	5. 4%	3. 5%	6. 8%	5. 4%	—
精密部品	売上高	1, 133億円	494億円	515億円	1, 010億円	△10. 9%
	営業利益	118億円	12億円	24億円	37億円	△68. 7%
	率	10. 4%	2. 5%	4. 7%	3. 7%	—
産業機器 ほか	売上高	702億円	337億円	422億円	760億円	+8. 2%
	営業利益	39億円	15億円	24億円	40億円	+1. 9%
	率	5. 6%	4. 6%	5. 8%	5. 3%	—
合計	売上高	4, 561億円	2, 029億円	2, 430億円	4, 460億円	△2. 2%
	営業利益	327億円	82億円	147億円	230億円	△29. 8%
	率	7. 2%	4. 0%	6. 1%	5. 2%	—

<注>金額は消去/調整後に変更しています。

海外展開

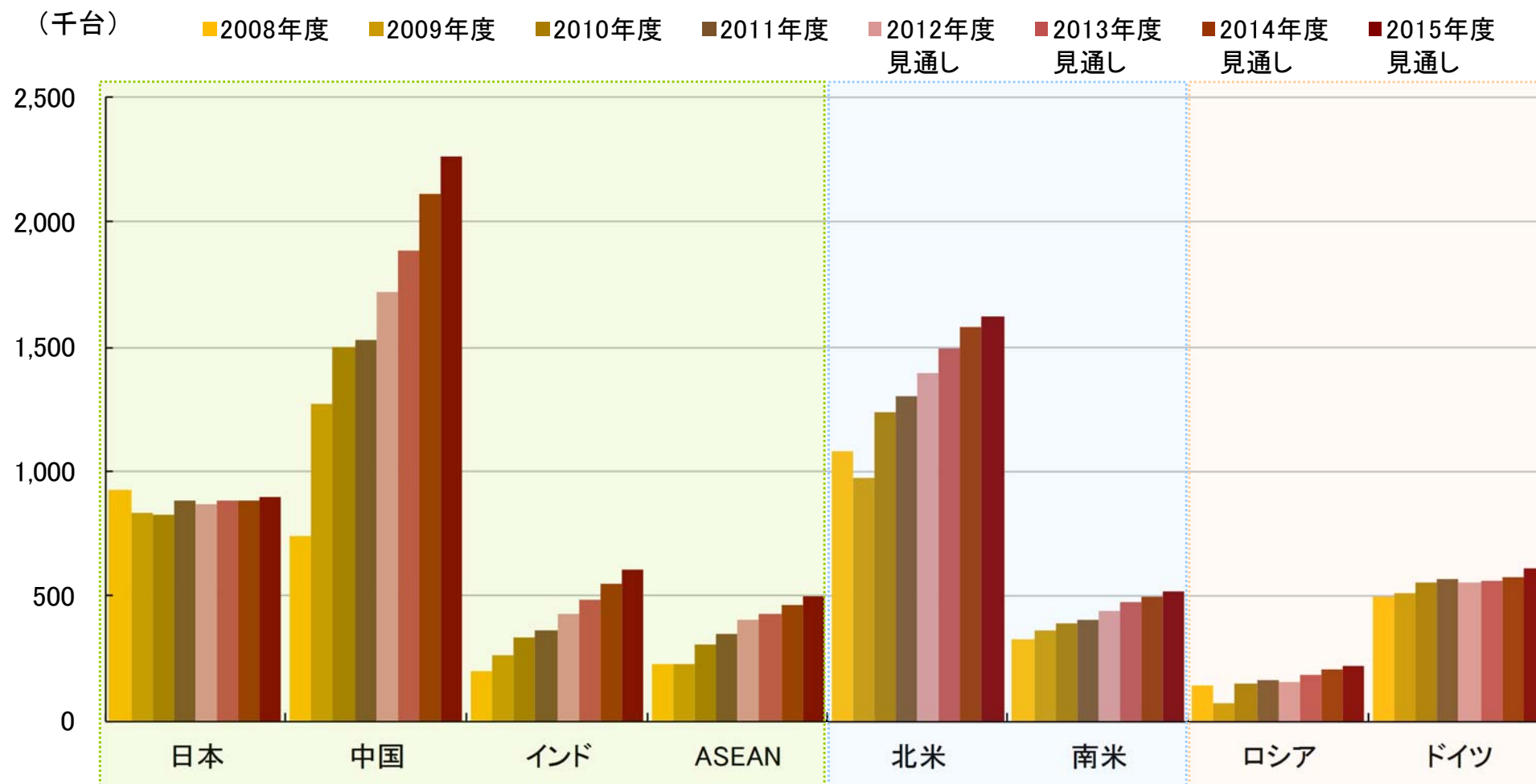
～中国を中心に加速するグローバル展開～



海外展開①

自動車業界を取り巻く外部環境

- ◆ 国内の自動車生産は伸びないが、海外では引き続き成長。日本の比率が低下、アジアの比率が着実に増加。中国、北米、インド、ASEANを重視。



注：ASEAN（インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム）、南米（アルゼンチン・ブラジル） ※出所：HISオートモーティブ（2011年10月） 乗用車のみ

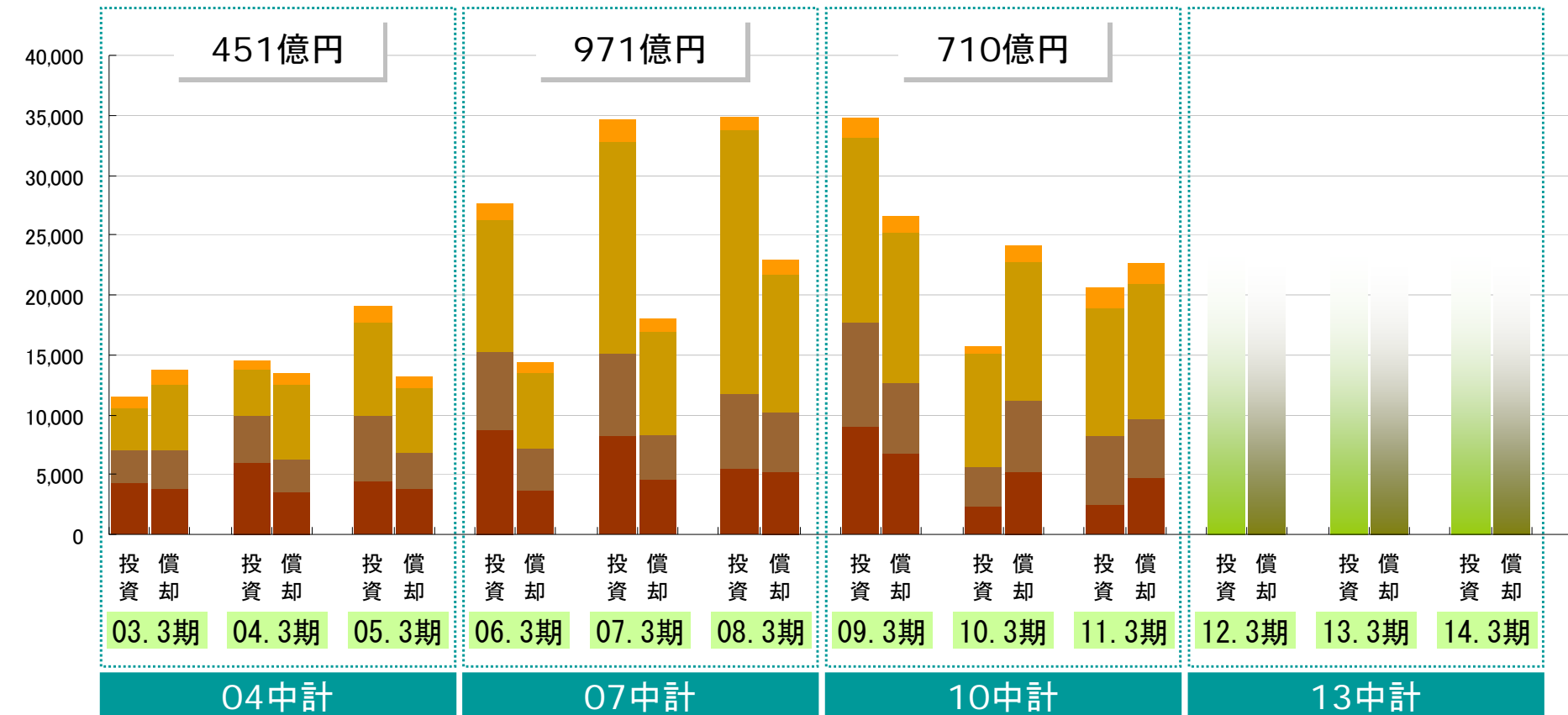
◆ 地域別では、日本の比率が低下、アジア(特に中国)の比率が着実に増加。

地域	04中計最終年度 05.3期			07中計最終年度 08.3期			10中計最終年度 11.3期		
	営業利益 (百万円)	構成比	売上高 営業利益率	営業利益 (百万円)	構成比	売上高 営業利益率	営業利益 (百万円)	構成比	売上高 営業利益率
日本	14,461	80%	5%	20,004	65%	6%	17,678	54%	6%
北米	△308	—	—	△418	—	—	1,657	5%	4%
中国	—	—	—	1,842	6%	11%	3,665	11%	17%
中国を除く アジア	3,648	20%	11%	8,927	29%	11%	9,756	30%	12%
合計	17,802	100%	5%	30,356	100%	6%	32,757	100%	7%

海外展開③ 設備投資・減価償却費の推移

◆ 05. 3期から08. 3期は特にHDD用サスペンション事業への設備投資が増加。

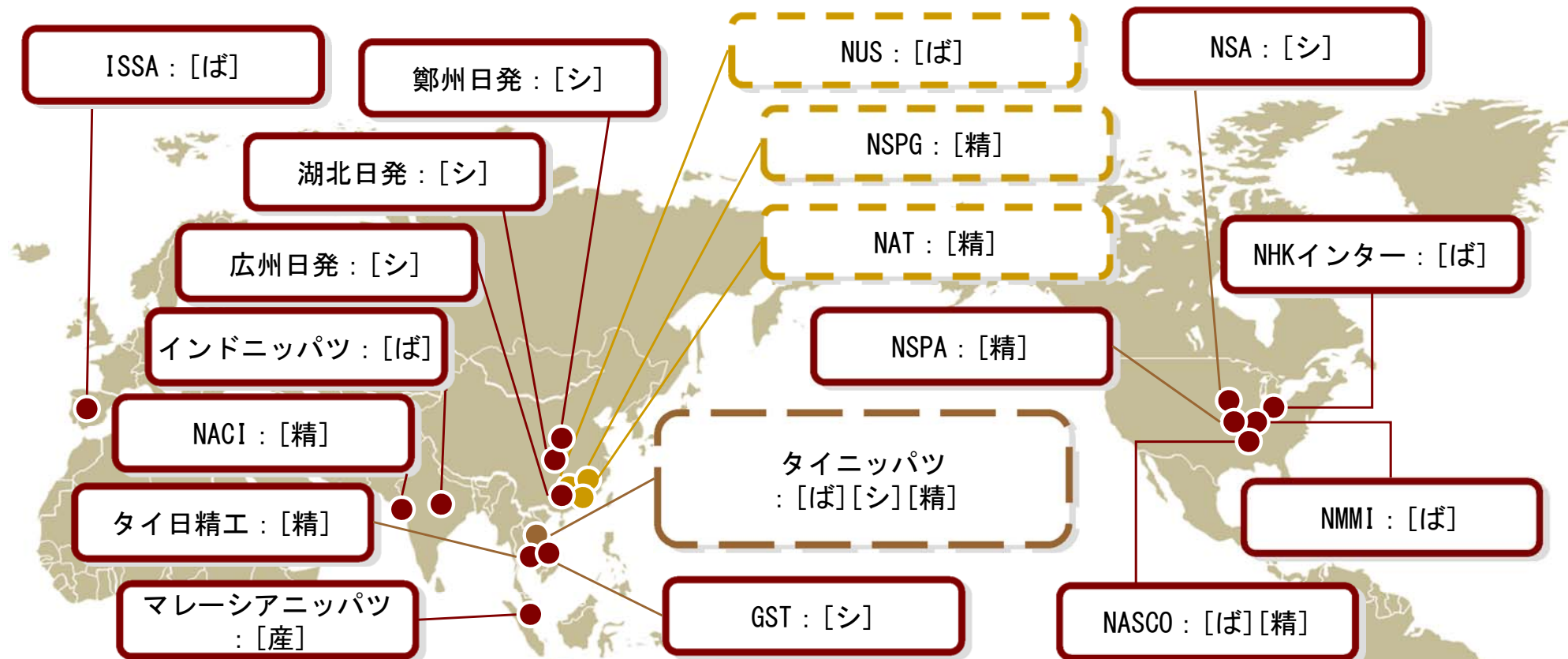
(百万円) ■ 懸架ばね ■ シート ■ 精密部品 ■ 産業機器ほか



- | | | | | |
|-------------|-------------------|---------------------|-------------------|---------------------------|
| 設備投資
主要な | ◆ 北米NMMI社生産設備 | ◆ タイニッパツ生産設備、シート新工場 | ◆ 滋賀工場生産設備 | ◆ 13中計達成のため3年間で680億円の設備投資 |
| | ◆ HDD用サスペンション生産設備 | ◆ HDD用サスペンション生産設備 | ◆ タイニッパツ生産設備 | |
| | | | ◆ HDD用サスペンション生産設備 | |
| | | | | |

会社概要④

主要海外拠点 北米、アジアを中心に展開



事業区分	北米	アジア			欧州	他
		中国	タイ	他		
懸架ばね	○	○	○	○	○	○
シート	○	○	○	×	×	×
精密部品	○	○	○	○	×	×
産業機器ほか	×	×	×	○	×	×

[ば]: 懸架ばね、[シ]: シート、[精]: 精密部品、[産]: 産業機器ほか

従業員数、会社規模 :

1~500人

501~2,500人

2,500人~

注: 連結子会社、持分法適用会社

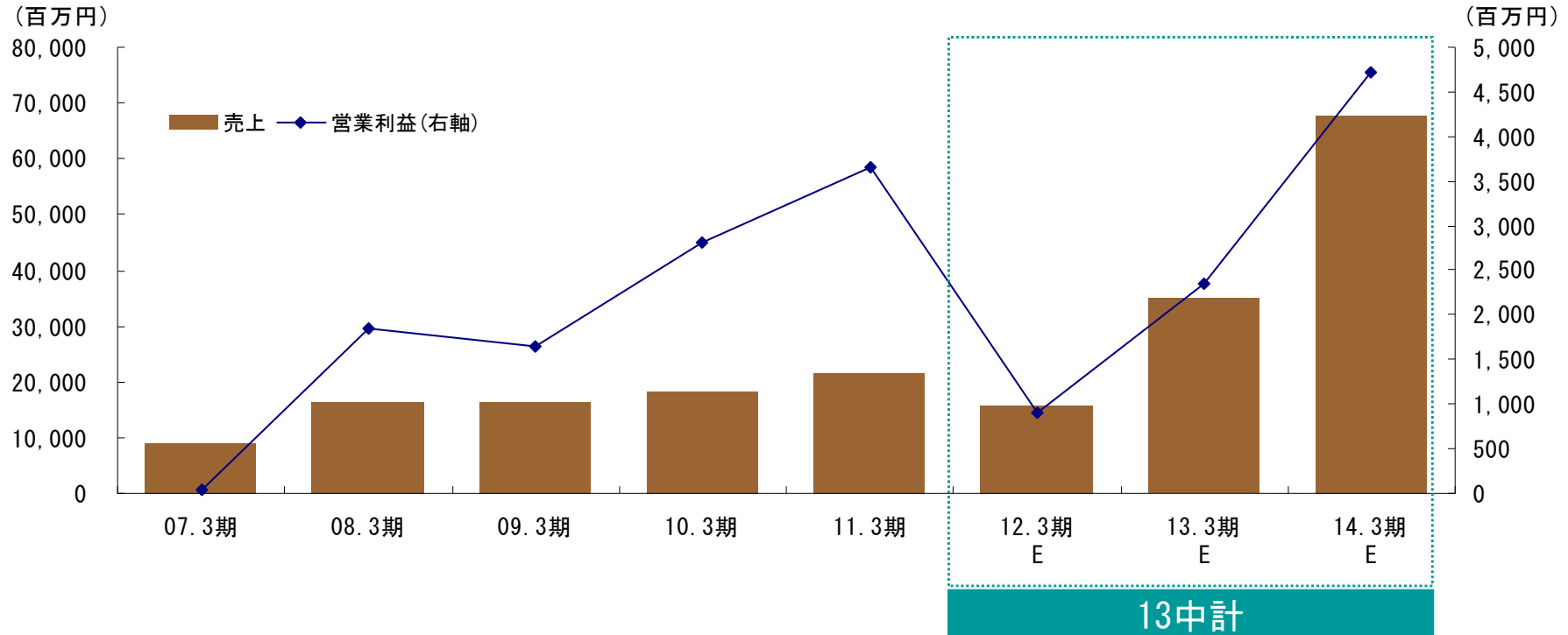
海外展開⑤

海外での設備投資での実績と計画

	セグメント				内容	投資時期	投資金額	生産開始時期 (業績への寄与)	業績計画
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器ほか					
中国		●			湖北日発	2010年11月	約37億円	2012年予定	2013年時点で約205億円の売上
		●			広州日発	2010年11月	約39億円	2012年予定	2013年時点で約83億円の売上
	●				NUS第2工場(広州)	2010年11月	約29億円	2012年予定	懸架ばねの生産能力25万本/月
		●			鄭州日発*1	2010年12月	約19億円	2014年予定	2015年時点で約66億円の売上
インド	●				NSI マネサール工場 能力増強	2011年8月	約3億円	2012年10月予定	コイルばねの生産能力現行の約1.5倍(8.3百万本/年に)
	●				NSI 第2工場 (スリシティー)	2011年8月	約13億円	コイルばねは2014年予定 スタビライザーは2015年予定	コイルばね3.3百万本/年 スタビライザー1.5百万本/年
			●		BBTCL社の精密ばね 事業買収	2011年7月	非公開	2011年10月中旬予定	2011年3月期の売上約19億円
タイ		●			ヘマラート工場	2010年11月	約11億円	2011年10月生産開始	2012年時点で約12億円の売上
北米		●			NSA第2工場 (テネシー州)	2010年7月	約27億円	2011年度中	NSA全体として2年後を目途に 1.5倍の売上増
			●		モーターコア工場 (ケンタッキー州)	2010年12月	約32億円	2011年度中	非公開

*1: 今回の決算発表と同時に中国鄭州にシート新会社の設立を発表

中国



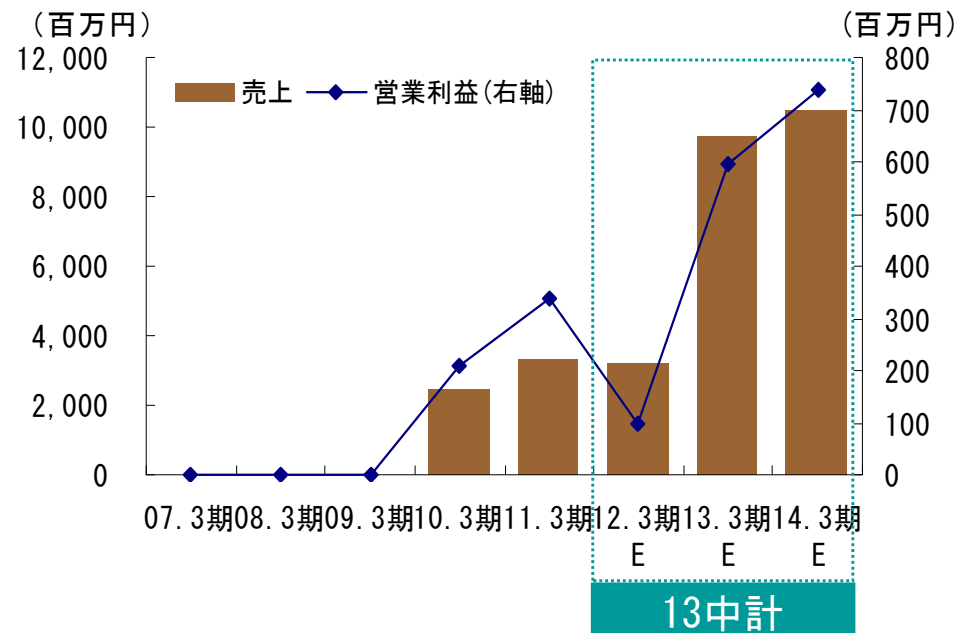
自動車部品関連

- ◆ シート事業の拡大に取り組む。
(売上、利益への貢献は14.3期からの見込み)

精密部品関連

- ◆ HDD用サスペンションは、12.3期は業界再編、円高の影響により減収減益になるも、13中計目標に向けての活動を計画どおり進める。

インド



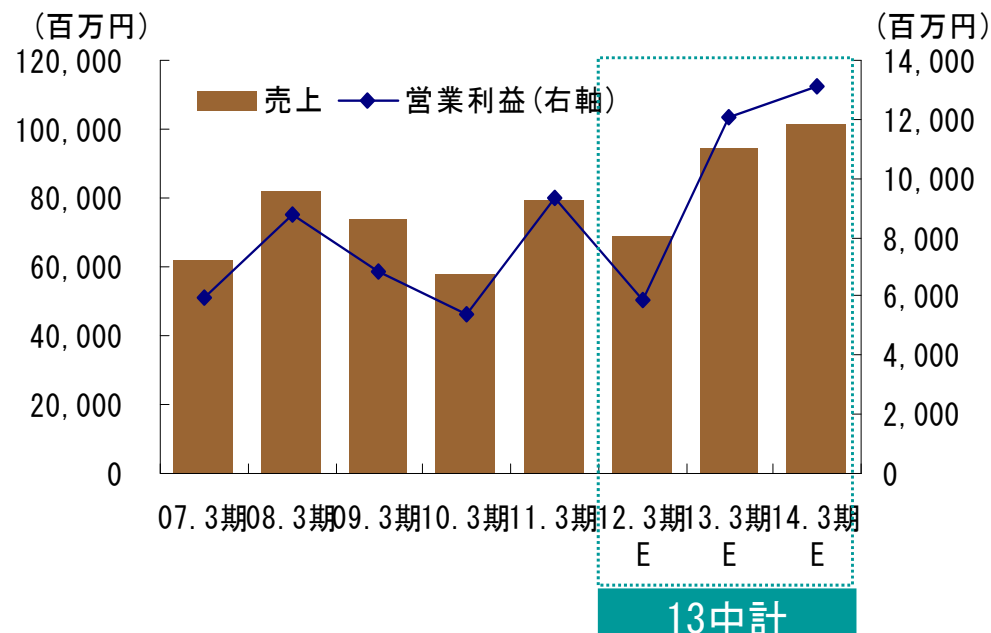
自動車部品関連

- ◆ 懸架ばね工場の生産能力増強に加え、南部への生産拠点新設を計画

精密部品関連

- ◆ 既に市場で大きなシェアを持つ現地会社の精密ばね事業部門を買収

タイ



自動車部品関連

- ◆ シート新工場を建設。コンパクトカーを中心とした生産規模拡大に対応する。

精密部品関連

- ◆ グループ会社の売上・利益の拡大

事業戦略

～12.3期は中期経営計画達成に向けての
基盤作り～



事業戦略①

13中計のPoint

懸架ばね

- ◆ 新興国における市場拡大への対応

シート

- ◆ グローバル展開の推進(海外新拠点の立上げ)

精密部品

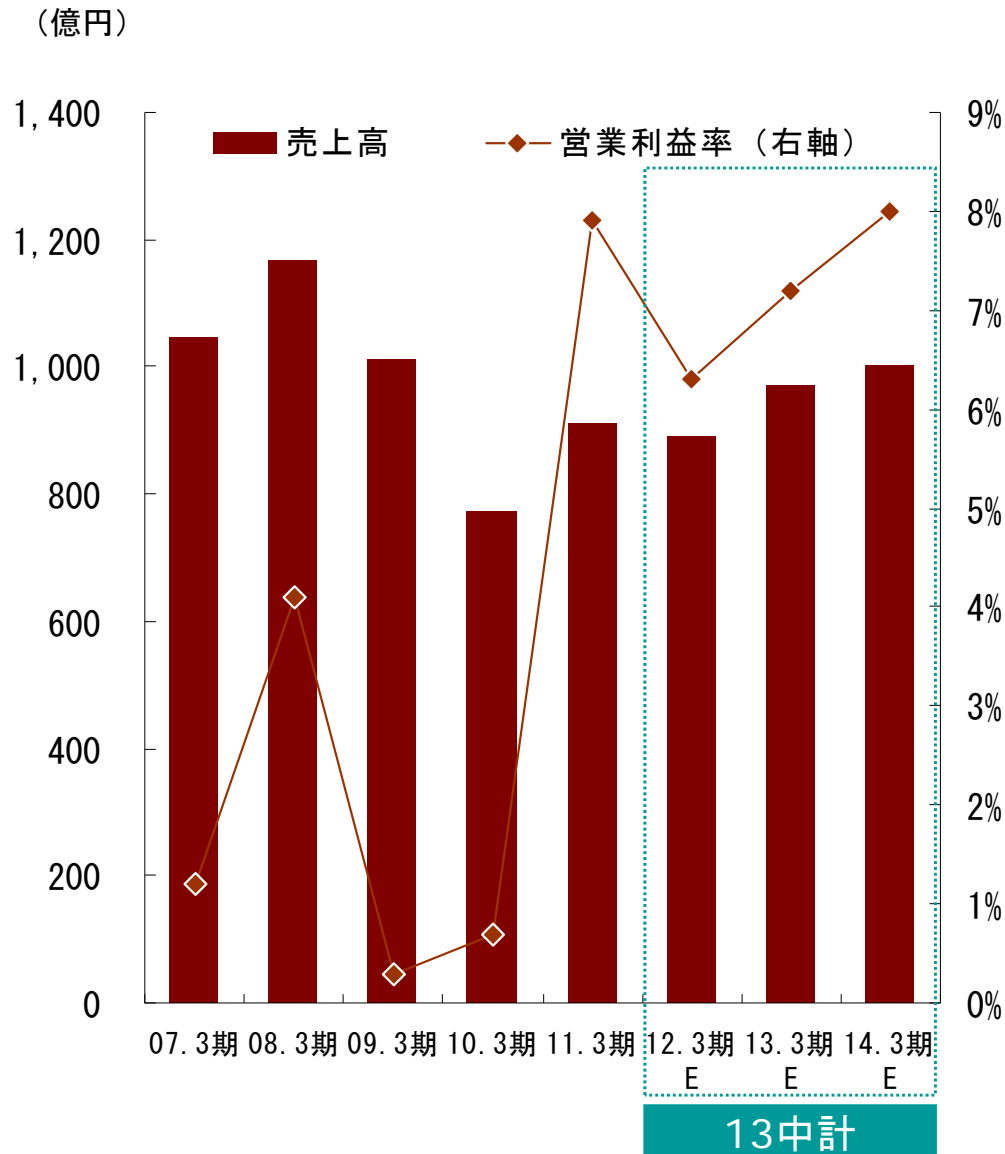
- ◆ 海外メーカーへの拡販
- ◆ HDD用サスペンションでシェアNo.1の地位確立

産業機器ほか

- ◆ 成長市場での売上拡大(ニッチ市場でのポジションアップと収益拡大)

		12.3期 計画	13中計			
			12.3期	差	13.3期	14.3期
懸架ばね	売上高	890億円	930億円	△40億円	970億円	1,000億円
	営業利益	56億円	62億円	△6億円	70億円	80億円
	率	6.3%	6.7%	△0.4%	7.2%	8.0%
シート	売上高	1,800億円	1,830億円	△30億円	2,000億円	2,300億円
	営業利益	97億円	122億円	△25億円	132億円	160億円
	率	5.4%	6.7%	△1.3%	6.6%	7.0%
精密部品	売上高	1,010億円	1,300億円	△290億円	1,400億円	1,500億円
	営業利益	37億円	147億円	△110億円	160億円	180億円
	率	3.7%	11.3%	△7.6%	11.4%	12.0%
産業機器 ほか	売上高	760億円	640億円	120億円	730億円	800億円
	営業利益	40億円	49億円	△9億円	68億円	100億円
	率	5.3%	7.7%	△2.4%	9.3%	12.5%
合計	売上高	4,460億円	4,700億円	△240億円	5,100億円	5,600億円
	営業利益	230億円	380億円	△150億円	430億円	520億円
	率	5.2%	8.1%	△2.9%	8.4%	9.3%

売上高・営業利益率の見通し



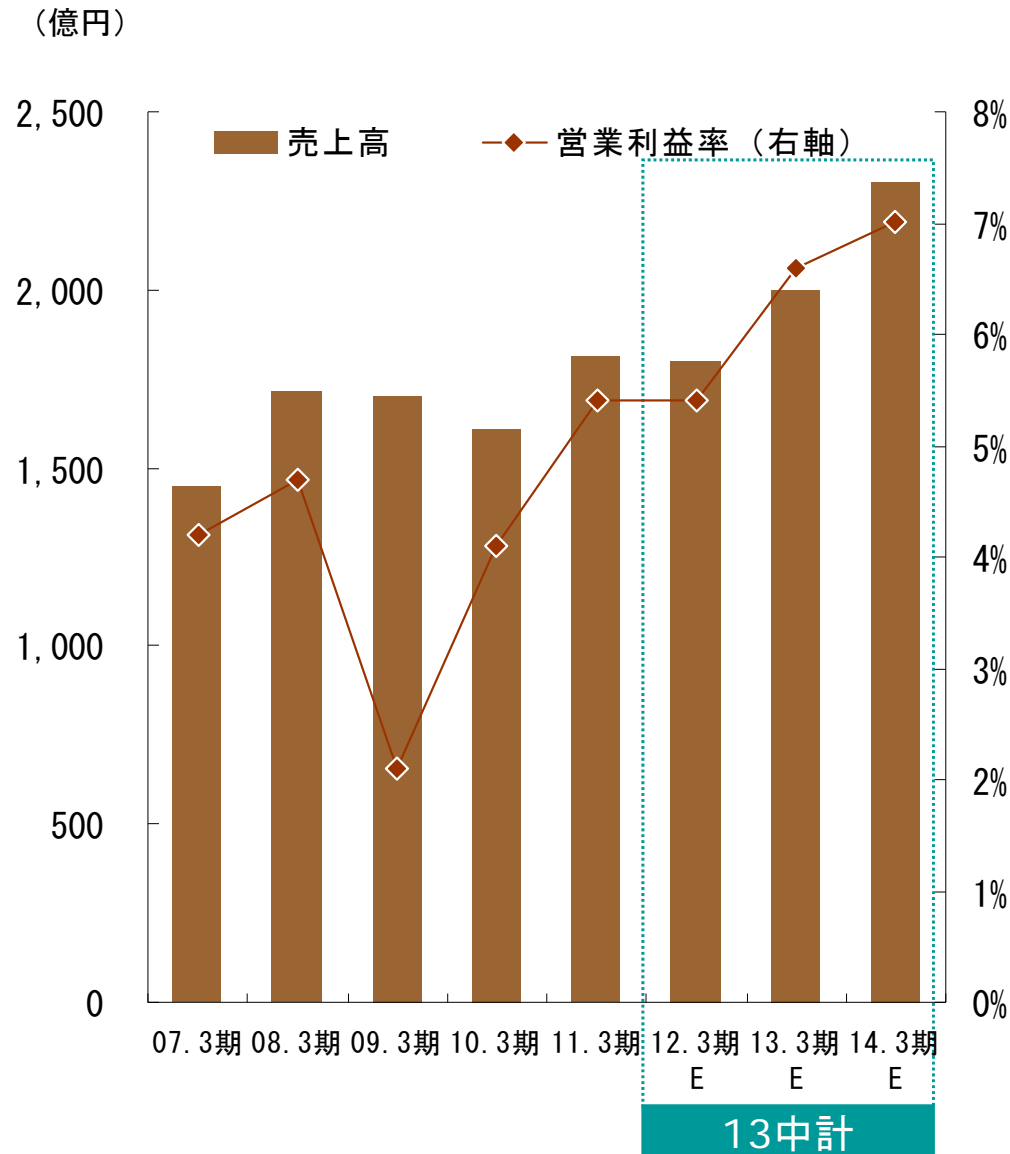
足元の状況

- ◆ 災害からの回復とともに影響を受けた地域での受注量の増加を想定。増量に対するスムーズな生産対応を図る。

13中計での取組み

- ◆ 新興国市場における市場拡大への対応
→インド、中国での生産能力増強
- ◆ 市場に対応した拠点の整備

売上高・営業利益率の見通し



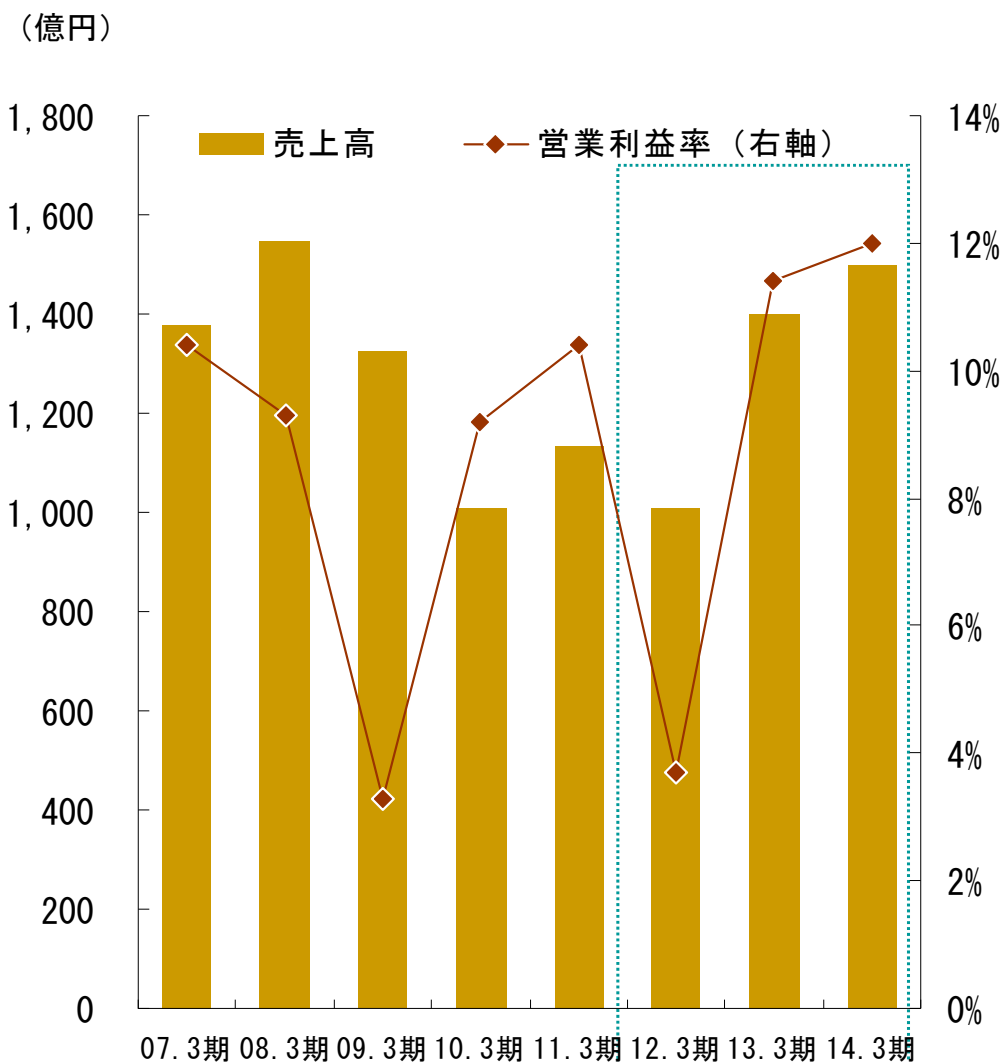
足元の状況

- ◆ タイの洪水による影響への対応
サプライチェーンの早期回復

13中計での取組み

- ◆ 海外新拠点を立上げ、グローバル展開の基盤を構築
 - 北米：スマーナ
 - 中国：花都、襄陽、鄭州
 - タイ：イースタンシーボード

売上高・営業利益率の見通し



13中計

足元の状況

- ◆ タイの洪水による影響への対応
- ◆ BCPの実践

13中計での取組み

- ◆ 海外メーカーへの拡販
- ◆ 成長分野への積極的な参入
→ モーターコア事業の確立
- ◆ HDD用サスペンションの拡販
→ 東芝、WDでのシェアアップ

HDD台数(百万台)

	CQ 1	CQ 2	上期	CQ 3	CQ 4	下期	通期
2010年実績	162	158	320	164	167	331	651
2011年	160	166	326	176	120	296	622

サスペンション総需要(百万個)

	CQ 1	CQ 2	上期	CQ 3	CQ 4	下期	通期
2010年実績	579	553	1,131	561	605	1,165	2,296
2011年	570	582	1,153	606	413	1,020	2,172

サスペンションカウント(個)

	CQ 1	CQ 2	上期	CQ 3	CQ 4	下期	通期
2010年実績	3.57	3.50	3.53	3.42	3.62	3.52	3.53
2011年	3.57	3.51	3.54	3.45	3.45	3.45	3.49

NHK数量(百万個)

	CQ 1	CQ 2	上期	CQ 3	CQ 4	下期	通期
2011年	234	213	447	249	239	488	935

NHKシェア(%)

	CQ 1	CQ 2	上期	CQ 3	CQ 4	下期	通期
2011年	41.4	37.4	39.4	41.1	57.9	47.9	43.0

【注】HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社予測値。

足元の状況

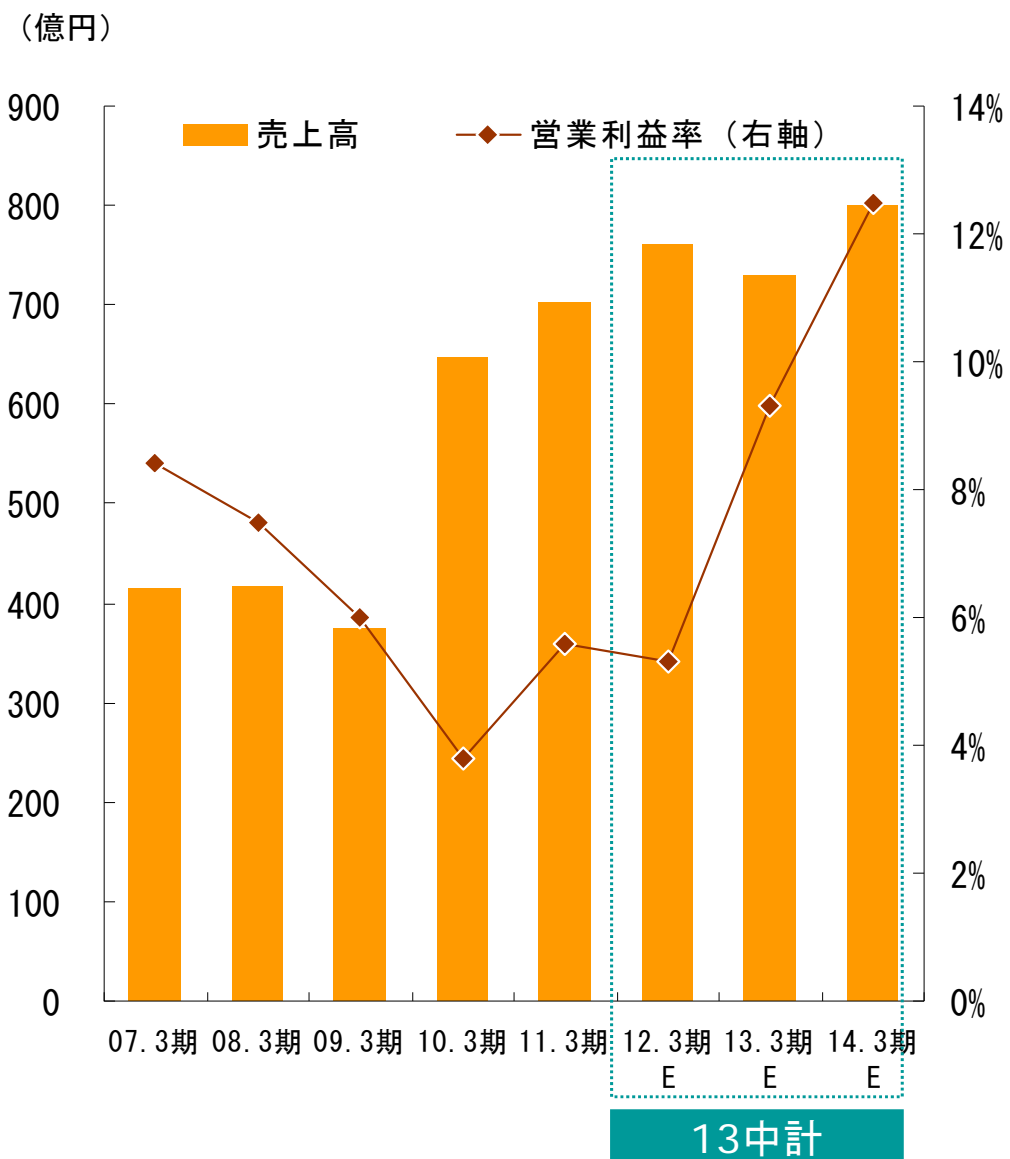
- ◆ 顧客のタイ洪水影響によるHDD生産台数減で総需要大幅減であるものの、一部の顧客からは受注増。

業界再編の当社への影響

- ◆ WDとHGST
当面は影響ないと想定
- ◆ SeagateとSamsung
当面、影響は最小限に留まると想定

【注】2011年CQ4については洪水の影響を含んだNHK予測値。今後変動の可能性あり。

売上高・営業利益率の見通し



足元の状況

- ◆ 震災、タイの洪水の影響を大きく受けることなく、足元は堅調。

13中計での取組み

- ◆ 成長市場での売上拡大
- ◆ ニッチ市場でのポジションアップと収益拡大

グループ会社 80%

運送
商社

スポーツ用具関連

マリン部品関連

駐車装置保守

など

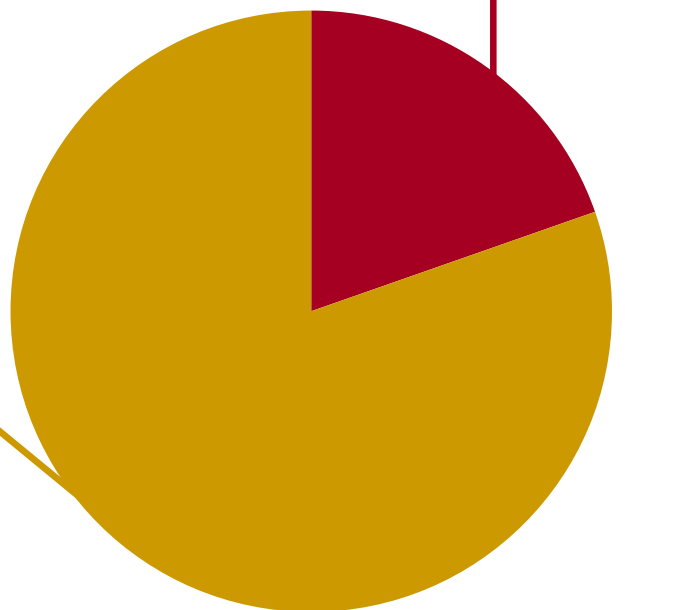
立体駐車装置と保守



ゴルフシャフト



2010年度売上構成



NHKニッパツ 20%

半導体製造装置用部品
ろう付製品(ヒーター)



金属ベースプリント基板



鉄道架線用バランサ

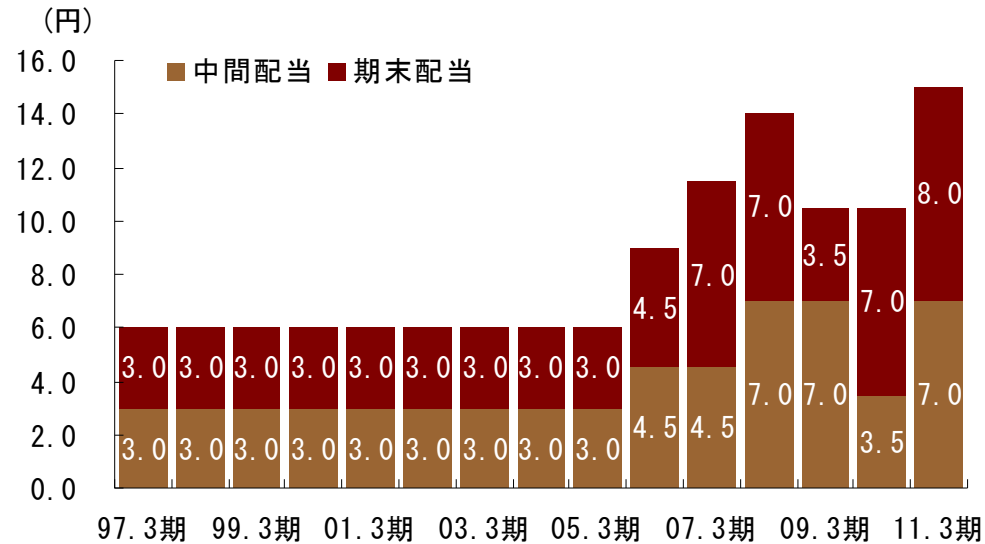


偽造防止用ホログラム



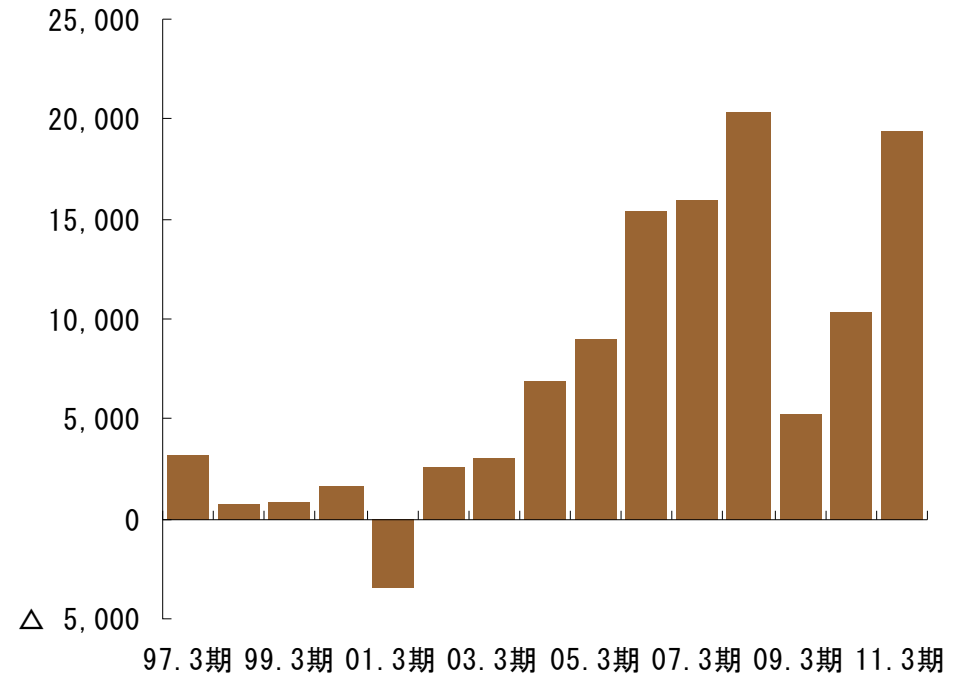
配当に対する考え方

一株当たり配当額



12.3期第2四半期末配当：7円
 12.3期期末配当：未定

当期利益



配当に対する考え方

- ◆ 当社では、長期にわたる経営基盤の確立のため、連結業績および配当性向などを総合的に勘案した、安定的な配当の継続を基本としております。
- ◆ 当期は経営環境に先行き不透明感があることから配当予想を未定としておりましたが、第2四半期末配当金につきましては、1株当たり7円とさせていただきます。
- ◆ なお、期末配当金につきましては、引続き未定とさせていただきます、決定次第すみやかにお知らせする予定です。

グループの求心力の強化

- ◆ 国内グループ上場会社の100%子会社化 *1
 - ①ニッパン：商社機能の強化による
売上の拡大
購入品コストの削減
 - ②トーπρα：効率的な海外進出、
精密部品での共同開発
- ◆ 海外グループ会社の資本強化
 - 各地域の重要子会社の100%子会社化

地域本社の設立

- ◆ 財務機能の共有化
- ◆ 国内CMS同様、地域内の資金効率化を目指す
 - ①中国：投資性会社の設立
 - ②北米：NHKインターでの
グループ各社の資金管理

経理業務の統一化

- ◆ ERPのグループ展開に着手
- ◆ IFRS対応に向けた体制づくり

*1:11月18日に
ニッパン、
トーπραの
完全子会社化
を発表

これらを下支えする価値観の共有

ニッパツウェイの策定・浸透

	12.3期 計画	前期比
売上高	4,460億円	△2.2%
営業利益	230億円	△29.8%
経常利益	230億円	△31.2%
当期利益	140億円	△27.9%

- ◆ 12.3期第2四半期は、震災による自動車の減産、HDDの減産、円高の影響により、売上高で前期比10.9%減の2,029億円、営業利益で前期比50.3%減の82億円となった。
- ◆ 8月に発表した12.3期通期計画に対して第2四半期まではほぼ計画どおりの進捗となったが、タイ洪水、円高の影響を加味し、今回通期計画を下方修正。修正後の通期計画では、売上高で前期比2.2%減の4,460億円、営業利益で前期比29.8%減の230億円となる見通し。
- ◆ 決算発表と同時に、中国鄭州にシート新会社の設立を発表した。
- ◆ 11月18日には、グループカのさらなる強化のため、ニッパン、トープラの完全子会社化を発表した。

補足資料



	2009年度		2010年度		増減率	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上-上	下-下
懸架ばね	340億円	433億円	462億円	449億円	36%	4%
シート	678億円	931億円	919億円	892億円	36%	△4%
精密部品	469億円	541億円	570億円	564億円	22%	4%
産業機器他	288億円	360億円	327億円	376億円	14%	4%
計	1,775億円	2,266億円	2,278億円	2,283億円	28%	1%

	2009年度		2010年度		増減率	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上-上	下-下
日本	1,360億円	1,684億円	1,630億円	1,636億円	20%	△3%
北米	155億円	220億円	225億円	212億円	45%	△4%
アジア	328億円	467億円	521億円	528億円	59%	13%
消去	△69億円	△103億円	△98億円	△93億円		
計	1,775億円	2,266億円	2,278億円	2,283億円	28%	1%

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	4,848億円	4,409億円	4,041億円	4,561億円
営業利益	303億円	104億円	187億円	327億円
率	6.3%	2.4%	4.6%	7.2%
経常利益	313億円	129億円	176億円	334億円
率	6.5%	2.9%	4.4%	7.3%
当期純利益	203億円	52億円	102億円	194億円
1株当り利益	84.01円	21.98円	43.45円	82.44円

	2009年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	784億円	990億円	1,088億円	1,178億円
営業利益	△26億円	40億円	72億円	101億円
率	△3.4%	4.1%	6.7%	8.6%
経常利益	△24億円	33億円	72億円	94億円
率	△3.2%	3.4%	6.7%	8.0%
当期純利益	△16億円	24億円	50億円	44億円

	2010年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,146億円	1,131億円	1,164億円	1,118億円
営業利益	80億円	84億円	87億円	74億円
率	7.1%	7.4%	7.5%	6.7%
経常利益	83億円	79億円	88億円	83億円
率	7.3%	7.0%	7.6%	7.4%
当期純利益	47億円	47億円	58億円	41億円

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
総資産	4,009億円	4,010億円	3,248億円	3,571億円	3,560億円
総資産回転率	1.13回	1.21回	1.21回	1.19回	1.28回
棚卸資産	369億円	390億円	348億円	307億円	320億円
棚卸回転率	12.7回	12.8回	11.9回	12.3回	14.6回
自己資本	1,376億円	1,492億円	1,159億円	1,342億円	1,428億円
自己資本比率	34.3%	37.2%	35.7%	37.6%	40.1%
有利子負債	769億円	645億円	860億円	662億円	589億円
D/Eレシオ	55.9	43.2	74.2	49.3	41.3
純有利子負債	362億円	374億円	546億円	302億円	57億円
ネット D/Eレシオ	26.3	25.1	47.1	22.5	4.0

補足資料⑤

2011年3月決算説明会資料より（キャッシュフロー）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
営業活動					
税前当期純利益	277億円	345億円	96億円	153億円	309億円
減価償却費	180億円	229億円	266億円	241億円	226億円
法人税等支払	△99億円	△119億円	△89億円	△3億円	△70億円
その他	85億円	△113億円	△47億円	37億円	66億円
計	443億円	342億円	226億円	428億円	531億円
投資活動					
有形固定資産取得	△281億円	△346億円	△287億円	△163億円	△186億円
その他	25億円	△2億円	△6億円	△15億円	△14億円
計	△256億円	△348億円	△293億円	△178億円	△200億円
財務活動					
有利子負債増減	37億円	△93億円	238億円	△200億円	△62億円
配当金	△22億円	△34億円	△34億円	△17億円	△33億円
自己株式取得	△1億円	△1億円	△39億円	△1億円	△27億円
その他	△4億円	△2億円	△7億円	△7億円	△11億円
計	10億円	△130億円	158億円	△225億円	△133億円
換算差額	6億円	△9億円	△34億円	5億円	△23億円
キャッシュフロー合計	204億円	△144億円	58億円	31億円	174億円

（単位：億円）

分野別		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度		2010年度
					旧セグメント	新セグメント	
懸架ばね	売上高	1,045	1,169	1,012	816	773	912
	営業利益	12	48	3	5	5	72
	率	1.2%	4.1%	0.3%	0.6%	0.7%	7.9%
シート	売上高	1,446	1,716	1,699	1,633	1,608	1,812
	営業利益	61	80	35	68	65	93
	率	4.2%	4.7%	2.1%	4.2%	4.1%	5.1%
精密部品	売上高	1,376	1,547	1,324	1,269	1,010	1,134
	営業利益	143	145	43	93	93	123
	率	10.4%	9.3%	3.3%	7.4%	9.2%	10.8%
産業機器他	売上高	414	416	374	323	648	703
	営業利益	35	31	22	21	25	40
	率	8.4%	7.5%	6.0%	6.6%	3.8%	5.7%
合計	売上高	4,280	4,848	4,409	4,041	4,041	4,561
	営業利益	251	304	105	188	188	328
	率	5.9%	6.3%	2.4%	4.6%	4.6%	7.2%

（単位：億円）

分野別		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
日本	売上高	3,059	3,266	3,482	3,164	3,044	3,266
	営業利益	185	212	200	14	97	177
	率	6.0%	6.5%	5.7%	0.4%	3.2%	5.4%
北米	売上高	436	439	518	460	375	437
	営業利益	△17	△22	△4	2	6	17
	率	△4.0%	△4.9%	△0.8%	0.4%	1.7%	3.8%
アジア	売上高	479	727	999	912	795	1,050
	営業利益	49	61	108	88	85	134
	率	10.2%	8.4%	10.8%	9.7%	10.6%	12.8%
消去	売上高	△143	△150	△149	△127	△172	△191
合計	売上高	3,831	4,280	4,848	4,409	4,041	4,561
	営業利益	216	251	303	104	187	327
	率	5.6%	5.9%	6.3%	2.4%	4.6%	7.2%